

## 令和4年度 第4回 積志小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月15日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 積志小学校 会議室
- 3 出席委員 渥美 年弘、高林 次枝、村田富佐子、小林 博典、高林亜衣子  
岡本 三矢、横山 佳行、市川 和廣、竹内涼子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 中谷 好一（校長）、伊熊 一隆（教頭）、平野 晶子（主幹教諭）  
富永 令子（CS ディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 富永 令子
- 9 会議記録

司会から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- 10 連絡事項 なし
- 11 熟議

議長の指示により、校長から学校評価の結果について解説があり、グループに分かれて協議を行い、委員からは、以下の発言があった。

### グループA

- ・アンケート結果から、保護者と児童の評価の差が見られる。学校でできていることが地域・家庭で反映できるとよい。
- ・ボランティア・地域・PTAが連携して横の繋がりを強め、方向性を合わせていきたい。地域の方との繋がりで育まれていくものもある。
- ・保護者にアンケートをとるなどして、あいさつや言葉遣いについての働きかけをしていけるとよい。子供たちの言葉遣いについては、場をわきまえて使い分けることが出来るようにしたい。（岡本委員）

### グループB

- ・いろいろな方面で活躍する人たちの話を聞くことで、子供たちの夢や希望が広がっていく。
- ・子供たちの興味を引いて取り込んでいくために、タブレットは有効な手立てである。タブレットの活用が増えていくと、個々の発想力や表現力が重要になる。伝えたいことを自分の中でうまく表現していくことが必要。
- ・子供たちは気づきができることが大切で、それが学習にも繋がっていくので、小さい頃から気づきができる子を育てたい。
- ・通学班のおかげで高学年の子が低学年の子の面倒を見ることができている。（横山委員）

- 12 連絡

#### (1) 協議会自己評価について

司会から、別紙資料に基づき協議会自己評価について委員に意見を求めたところ、委員から

は、以下の発言があった。

・特に問題になることはないので、来年度も本年度と同様に協議会を進めていく。(渥美委員)

(2) 司会から、今後の開催日・時間について以下の報告があった。

令和5年度開催予定日

① 5月10日(水)

② 7月 5日(水)

③ 10月11日(水)

④ 2月14日(水)

いずれも10時から11時30分

その他報告事項等

岡本委員、横山委員は、本年度末で退任となる。